

ビールから見た消費市場としての新興国

中国や欧州の一部が熱波に見舞われています。ロシアでは記録的な暑さによる干ばつ被害が拡大し、生産減による価格上昇を防ぐために、小麦などの穀物の輸出を一時禁止にするとといった影響も出始めています。日本でも暑い日が続き、ビアガーデンが盛況といったニュースが聞かれます。

ところで、2009年に世界で最もビールを生産・消費した国はどこでしょうか？正解は中国です。中国は2003年に、それまでトップだったアメリカを抜き、消費量・生産量ともに世界最大の「ビール大国」となりました。10年前に比べて、全世界のビール生産量は4,400万kl（キロリットル）増加しましたが、そのうちの約半分は中国の増加分となっています。

中国のほかに、生産量が多い国を見ると、ロシアやブラジル、メキシコ、ポーランドといった新興国が目立ちます。先進国が嗜好の多様化や景気回復の遅れから伸び悩む一方、新興国は消費が好調な国が多いほか、所得の増加や生活水準の向上から、ビールを飲む人が増加しています。日本人が身近に消費するビールからも、新興国が存在感を高めていることがうかがえます。

主な世界のビール生産国（単位:万kl）

1999年	2009年	増減率(%) 1999年比
1 アメリカ 2,326	1 中国 4,236	104
2 中国 2,074	2 アメリカ 2,302	-1
3 ドイツ 1,128	3 ロシア 1,085	141
4 ブラジル 800	4 ブラジル 1,080	35
5 日本 722	5 ドイツ 1,000	-11
6 メキシコ 581	6 メキシコ 823	42
7 イギリス 579	7 日本 600	-17
8 ロシア 450	8 イギリス 451	-22
9 南アフリカ 259.0	9 スペイン 338	31
10 スペイン 258.5	10 ポーランド 322	43
世界総合計 13,692	世界総合計 18,100	32

出所：キリン食生活文化研究所。日本の生産量については、ビール・発泡酒・新ジャンルの合計。

新興国の債券利回りを「グローバルマップ」でチェック www.gsam.co.jp



Goldman Sachs

Asset
Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。

© Copyright 2010, The Goldman Sachs Group, Inc. All rights reserved. <審査番号:TK10080020>